



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日 東

上場会社名 ジオスター株式会社 上場取引所  
 コード番号 5282 URL <https://www.geostr.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 端山 真吾  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 企画・経理部長 (氏名) 石井 一史 (TEL) 03-5844-1201  
 四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	16,857	△1.2	989	△26.1	1,011	△25.6	651	△18.8
2023年3月期第3四半期	17,067	△13.0	1,339	△19.1	1,358	△18.5	801	△25.7

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 884百万円( 14.4%) 2023年3月期第3四半期 773百万円( △22.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	20.82	—
2023年3月期第3四半期	25.63	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	33,781	22,581	66.8
2023年3月期	34,545	21,884	63.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 22,581百万円 2023年3月期 21,884百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注2) 配当予想の修正は、本日(2024年2月9日)別途開示しております「2024年3月期(第55期)配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,900	6.6	1,450	△4.7	1,450	△6.0	800	23.8	25.57

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注2) 業績予想の修正は、本日(2024年2月9日)別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	31,530,000株	2023年3月期	31,530,000株
2024年3月期3Q	245,033株	2023年3月期	245,033株
2024年3月期3Q	31,284,967株	2023年3月期3Q	31,284,967株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社グループは適正な利潤の確保に努め、健全な発展と持続性を目指し、収益状況に対応した適正な配当維持に努力することを基本方針としております。また、内部留保を充実し、企業体質の強化と将来の事業展開に備えたいと考えております。収益状況に対応した適正な配当の指標としては、連結配当性向年間30%程度を目安といたします。この配当に関する基本方針を踏まえ、2024年3月期の期末配当につきましては、1株につき8円とさせていただきます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類引き下げにより、経済活動の正常化が進む中、鉱工業生産・個人消費共に持ち直しの動きをみせている一方で、世界経済減速に伴う輸出の低迷を受けて、一進一退の動きとなっています。今後の先行きについては、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くと期待されるものの、ウクライナ戦争の長期化や中東地域の不安定な情勢、エネルギー価格や原材料価格の高止まり、中国経済の先行き懸念等による海外景気の下振れリスク等により、依然としてわが国の景況感については不透明な状況が継続しております。

当社グループの属する土木業界につきましては、公共投資は堅調に推移しており、今後の先行きについても、補正予算の効果もあって、底堅く推移することが見込まれます。一方で、大型セグメント案件の掘進時期が不透明であることや、鉄筋、セメントをはじめとする諸資材に加え、電力等エネルギー価格の高騰等、事業環境としては予断を許さない状況にあります。

このような状況下、当社グループは環境変化に的確に対応しつつ、強靱な収益体質の構築に向け、大型セグメントに留まらず、中小セグメントやRC土木製品の新規受注ならびに生産量の積み増しに加え、徹底した原価低減等の諸施策を進めることで、安定した収益構造の構築に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、RC土木製品の売上高は増加したものの、セグメント製品の売上減と利益率の低下等により、売上高168億57百万円（前年同期比1.2%減）、営業利益9億89百万円（前年同期比26.1%減）、経常利益10億11百万円（前年同期比25.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、6億51百万円（前年同期比18.8%減）と減収減益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億63百万円減少し、337億81百万円となりました。これは主に、預け金の減少（17億65百万円）、受取手形及び売掛金の減少（9億54百万円）等の減少要因と、商品及び製品の増加（10億2百万円）、原材料及び貯蔵品の増加（8億48百万円）等の増加要因を加減算したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ14億60百万円減少し、112億円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少（8億89百万円）、受注損失引当金の減少（3億9百万円）、賞与引当金の減少（2億94百万円）等の減少要因によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ6億97百万円増加し、225億81百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加（4億63百万円）、その他有価証券評価差額金の増加（2億27百万円）等によるものであります。なお、利益剰余金の増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加（6億51百万円）、剰余金の配当による減少（1億87百万円）によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、本日（2024年2月9日）別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

また、配当予想の修正につきましては、本日（2024年2月9日）別途開示しております「2024年3月期（第55期）配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	841,393	608,486
預け金	7,113,187	5,347,841
受取手形及び売掛金	5,492,969	4,538,899
電子記録債権	1,528,712	2,203,735
商品及び製品	4,159,087	5,161,982
仕掛品	1,506,992	947,300
原材料及び貯蔵品	2,301,723	3,150,362
未収入金	1,353,283	1,379,812
その他	564,482	654,486
貸倒引当金	△662	—
流動資産合計	24,861,168	23,992,908
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,941,039	1,890,402
機械装置及び運搬具（純額）	1,285,738	1,247,584
土地	4,055,000	4,054,725
その他（純額）	255,948	230,819
有形固定資産合計	7,537,727	7,423,531
無形固定資産	56,431	41,106
投資その他の資産		
投資有価証券	833,581	1,161,858
その他	1,265,989	1,171,604
貸倒引当金	△9,700	△9,700
投資その他の資産合計	2,089,870	2,323,762
固定資産合計	9,684,029	9,788,401
資産合計	34,545,198	33,781,309

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,475,030	3,585,987
短期借入金	270,000	270,000
前受金	3,571,526	3,790,492
未払法人税等	213,497	1,331
未払消費税等	10,884	—
未払金	2,268,067	2,267,752
賞与引当金	443,691	149,061
受注損失引当金	823,674	514,435
事業所閉鎖損失引当金	57,839	11,479
その他	68,370	166,017
流動負債合計	12,202,582	10,756,556
固定負債		
長期借入金	60,000	60,000
役員退職慰労引当金	84,940	73,590
退職給付に係る負債	216,859	214,377
資産除去債務	89,932	90,020
その他	6,687	5,557
固定負債合計	458,419	443,546
負債合計	12,661,002	11,200,103
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,352,250	3,352,250
資本剰余金	4,384,580	4,384,580
利益剰余金	13,874,411	14,338,077
自己株式	△28,670	△28,670
株主資本合計	21,582,571	22,046,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	278,251	505,687
退職給付に係る調整累計額	23,373	29,281
その他の包括利益累計額合計	301,624	534,968
純資産合計	21,884,196	22,581,206
負債純資産合計	34,545,198	33,781,309

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	17,067,107	16,857,158
売上原価	13,708,378	13,885,910
売上総利益	3,358,728	2,971,247
販売費及び一般管理費	2,019,265	1,982,047
営業利益	1,339,462	989,200
営業外収益		
受取利息	2,819	2,654
受取配当金	14,644	18,164
固定資産売却益	2,387	649
その他	1,711	3,823
営業外収益合計	21,562	25,292
営業外費用		
支払利息	875	847
支払補償費	—	1,000
上場賦課金	780	780
その他	761	529
営業外費用合計	2,417	3,157
経常利益	1,358,607	1,011,335
特別利益		
固定資産売却益	2,126	5,086
特別利益合計	2,126	5,086
特別損失		
固定資産除売却損	53,065	34,151
ゴルフ会員権評価損	—	4,390
投資有価証券評価損	—	735
事務所移転費用	76,516	—
特別損失合計	129,581	39,277
税金等調整前四半期純利益	1,231,152	977,144
法人税等	429,419	325,769
四半期純利益	801,733	651,375
親会社株主に帰属する四半期純利益	801,733	651,375

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	801,733	651,375
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35,534	227,436
退職給付に係る調整額	7,418	5,907
その他の包括利益合計	△28,115	233,343
四半期包括利益	773,617	884,719
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	773,617	884,719

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、主として当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。